

出張講義

教育

シティズンシップ教育って何だろう？～18歳選挙権に伴う主権者教育～

担当教員: 杉岡 秀紀 准教授

2015年6月に公職選挙法が改正され、これまで20歳以上であった選挙権が18歳以上に引き下げられました。そして、いよいよ2016年7月の参議院議員選挙から210万人の18～19歳有権者が誕生しました。

選挙権年齢の引き下げは25歳以上から20歳以上に引き下げられた1945年以来の改正で実に約70年ぶりです。そんな中、注目を集めているのが今までは何もしないことにより中立性を担保してきた主権者教育、シティズンシップ教育のあり方です。そこで、本模擬講義では、ここ数年、筆者が若者の投票率を向上させる取組みを行ってきた主権者教育のケーススタディとして紹介します。加えて、「政治的中立性」の意味を改めて問いつつ、その鍵は家庭や学校、地域の枠を越えた協働による「シティズンシップ教育」にあることを提起します。皆で一緒にシティズンシップ教育のあり方について考えましょう。

- 受講人数の目安: 50～100人
- 所要時間の目安: 60～90分
- 高校でご準備いただきたいもの: プロジェクター、スクリーン